

平成 30 年度「立正大学研究推進・地域連携センター支援費」研究成果報告書

1. 種目 第 1 種

2. 研究課題名 大学における英語教育の実態と現場のニーズに関する研究

3. 研究代表者

研究代表者名		所属部局名	職名
クドウ	ベニ	経営学部	講師
工藤	紅		

4. 連携研究者

連携研究者名		所属部局名	職名
ウンサーシュッツ	ジャンカーラ	心理学部	准教授
ウンサーシュッツ	ジャンカーラ		
ローズ	サミュエル	文学部	特任講師
ローズ	サミュエル		

5. 研究実績の概要

当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、申請書に記載した「研究目的」、「研究計画・方法」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述して下さい。

本研究の目的は、英語教育の現場におけるニーズを調査することにより、各学部の教員と学生それぞれの課題と、学部間で連携できることが明らかにすることであった。また、方法として、1)英語教育の現場におけるニーズが実際にいかなるものなのか、2)文部科学省の政策が、現場においていかに意識されているのか、3)その意識のもとで文部科学省の政策がどれほどかつどの形で反映されているのかを検討する。以上の3点を明らかにすることを予定していた。

5月に研究費が採択されてから準備を進め、9月に立正大学全学部の英語担当教員14名を対象に、アンケートを行った。そのアンケートを集計することにより、現場の教員は、文部科学省の政策の内容には賛成しているものの、その実施方法に問題があると考えていることが明らかになった。本アンケートに関し、補足的にインタビューを行い、より詳しい意見をj得る予定であったが、3月までに実施することが時間的に不可能であった。インタビューは、実践的研究の準備段階として、本年度の研究で実施する予定である。

また、1月には経営学部、心理学部、文学部の学生、992人を対象とし、立正大学の英語教育に関するアンケートを実施した。1)自身の英語学習、2)学部学科の英語教育、3)授業外学習として英語コーナーが設置された場合に利用したい設備・サービス、4)その他の意見の4パートで、選択式・記述式の全40項目について回答を得た。その結果により、学生が現状の英語学習時間、英語学習環境に必ずしも満足していないことが明らかになった。

本研究は本学の学生の、英語学習に対するモチベーションを高めるための実践的研究の予備研究として意義のあるものであった。本研究で得た調査結果をより詳細に分析することにより、実践的研究では、授業外学習に焦点を当てる予定である。

6. 研究発表（平成 30 年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（ ）件 うち査読付論文 計（ ）件

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁

〔学会発表〕 計（ 3 ）件 うち招待講演 計（ 0 ）件

発表者名	発表標題		
ウンサーシュッツ・ジャンカーラ 工藤紅	The Realities of global talent in Japan: Educational policies for Internationalization on the ground at a mid-tier university		
学会等名	発表年月日	発表場所	
Japan Studies Association	平成31年1月4日	Hyatt Place Waikiki Beach Hotel	

発表者名	発表標題		
ウンサーシュッツ・ジャンカーラ	Switch into a flipped classroom in four steps		
学会等名	発表年月日	発表場所	
全国語学教育学会	平成31年1月	Granship（静岡市）	

発表者名	発表標題		
ローズ・サミュエル	Cross-faculty Research in a Private Japanese University: Improving Language Skills While Bringing Faculties Closer Together		
学会等名	発表年月日	発表場所	
International Conference on Language, Education, Humanities, and Innovation 2019	平成31年1月25日	Novotel Century Hong Kong	

〔図書〕 計（ ）件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

研究補助を受けた方は、「研究成果報告書」を提出していただき、ホームページ等で研究成果を公開いたします。研究成果が公開できない事情がある場合には、その理由を記述して下さい。

※研究成果を公開できない理由

--